



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 日本製麻株式会社

上場取引所

東証二部

コード番号 3306

URL <http://www.nihonseima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 広太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中川 昭人 TEL(078)332-8251

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期 第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日 ~ 平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期 第2四半期	2,378	8.0	96	75.9	95	485.8	2	△98.0
26年3月期 第2四半期	2,201	△10.7	54	—	16	—	125	—

(注) 包括利益 27年3月期 第2四半期 19百万円 (△92.7%) 26年3月期 第2四半期 267百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期 第2四半期	0.07	—
26年3月期 第2四半期	3.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期 第2四半期	3,797	1,817	28.8
26年3月期	3,823	1,800	28.9

(参考) 自己資本 27年3月期 第2四半期 1,094百万円 26年3月期 1,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,528	△3.6	144	11.2	137	65.6	80	△35.7	2.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 ()、除外 一社 ()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	36,733,201株	26年3月期	36,733,201株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	57,299株	26年3月期	56,766株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	36,676,145株	26年3月期2Q	36,677,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想につきましては、前回(平成26年5月14日)発表予想を修正しております。詳細につきましては平成26年11月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策効果により景気は緩やかに回復してきましたが、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動を招き個人消費が落ち込みました。また、円安による原材料の上昇やエネルギーコストの増加など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは前連結会計年度より開始した中期経営計画を推進し、経営基盤の強化と恒常的な利益の獲得を図っております。食品事業は売上の低迷及び原材料の高騰により利益を落としましたが、マット事業は海外での販売が順調に推移し利益に貢献しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,378百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は96百万円（前年同四半期比75.9%増）、経常利益は95百万円（前年同四半期比485.8%増）、法人税等44百万円及び少数株主利益47百万円を計上し、四半期純利益は2百万円（前年同四半期比98.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（産業資材事業）

産業資材事業の紙袋商品は納入先の生産調整等により販売数量が伸びず、加えて一部商品で仕入原価の上昇を販売価格に転嫁できませんでした。黄麻商品は特殊仕様ジュート糸及びフレコン袋が利益に寄与しました。その結果、売上高は456百万円と前年同四半期と比べ30百万円（6.3%）の減収、営業利益は8百万円と前年同四半期と同水準で推移しました。

（マット事業）

マット事業の国内販売は、消費増税前の駆け込み需要で膨らんでいた受注残が一巡し、反動減が鮮明になりました。海外販売は新規顧客獲得により順調に推移しました。その結果、売上高は1,163百万円と前年同四半期と比べ374百万円（47.5%）の増収、営業利益は103百万円（前年同四半期は10百万円の営業損失）となりました。

（食品事業）

食品事業は、消費税増税後の個人消費の低迷や天候不順により、売上高を落としました。又、円安による原材料の高騰は利益を圧迫しました。その結果、売上高は754百万円と前年同四半期と比べ137百万円（15.4%）の減収、営業損失は16百万円（前年同四半期は31百万円の営業利益）となりました。

（不動産開発事業）

不動産開発事業は前期の賃貸土地売却にともない、売上高は3百万円と前年同四半期と比べ29百万円（90.3%）の減収、営業利益は1百万円と前年同四半期と比べ23百万円（95.6%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,797百万円、前連結会計年度末と比較して26百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の増加208百万円、受取手形及び売掛金の減少105百万円、仕掛品の減少69百万円、原材料及び貯蔵品の減少63百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,980百万円、前連結会計年度末と比較して42百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金の減少341百万円、固定負債における長期借入金の増加254百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,817百万円、前連結会計年度末と比較して16百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は28.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成26年11月7日の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	156,460	364,470
受取手形及び売掛金	829,648	724,537
商品及び製品	347,141	335,789
仕掛品	245,953	176,641
原材料及び貯蔵品	444,169	380,997
繰延税金資産	31,509	26,060
その他	32,386	33,627
貸倒引当金	△4,153	△4,127
流動資産合計	2,083,116	2,037,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	320,693	311,139
土地	771,801	764,128
その他(純額)	156,077	134,821
有形固定資産合計	1,248,572	1,210,089
無形固定資産		
無形固定資産	69,481	61,363
投資その他の資産		
その他	500,499	566,675
貸倒引当金	△78,106	△78,650
投資その他の資産合計	422,393	488,024
固定資産合計	1,740,447	1,759,477
資産合計	3,823,563	3,797,474
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	921,037	579,927
短期借入金	110,000	150,000
1年内償還予定の社債	156,000	6,000
1年内返済予定の長期借入金	107,293	179,638
未払法人税等	28,538	25,786
賞与引当金	10,790	40,510
その他	230,660	189,391
流動負債合計	1,564,318	1,171,254
固定負債		
社債	18,000	135,000
長期借入金	215,417	469,758
退職給付に係る負債	153,051	129,088
長期預り保証金	4,850	4,850
繰延税金負債	12,679	26,488
その他	54,802	43,810
固定負債合計	458,800	808,995
負債合計	2,023,119	1,980,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,836,660	1,836,660
資本剰余金	17,380	17,380
利益剰余金	△758,886	△756,378
自己株式	△4,730	△4,754
株主資本合計	1,090,423	1,092,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,655	△12,015
為替換算調整勘定	29,157	13,444
その他の包括利益累計額合計	14,501	1,428
少数株主持分	695,518	722,888
純資産合計	1,800,443	1,817,224
負債純資産合計	3,823,563	3,797,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,201,581	2,378,045
売上原価	1,746,433	1,881,877
売上総利益	455,147	496,167
販売費及び一般管理費	400,202	399,522
営業利益	54,945	96,645
営業外収益		
受取利息	2,012	1,147
受取配当金	3,671	5,059
為替差益	-	5,466
物品売却益	5,210	217
その他	2,072	633
営業外収益合計	12,966	12,525
営業外費用		
支払利息	18,140	6,298
社債発行費	-	3,191
シンジケートローン手数料	2,000	-
金利スワップ解約損	19,103	-
為替差損	5,499	-
その他	6,928	4,544
営業外費用合計	51,671	14,033
経常利益	16,240	95,138
特別利益		
固定資産売却益	143,337	-
特別利益合計	143,337	-
税金等調整前四半期純利益	159,578	95,138
法人税、住民税及び事業税	15,339	22,593
法人税等調整額	20,816	22,232
法人税等合計	36,156	44,825
少数株主損益調整前四半期純利益	123,421	50,312
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,640	47,804
四半期純利益	125,062	2,507

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	123,421	50,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,865	2,640
為替換算調整勘定	133,881	△33,503
その他の包括利益合計	143,746	△30,863
四半期包括利益	267,168	19,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,718	△10,565
少数株主に係る四半期包括利益	69,450	30,014

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	159,578	95,138
減価償却費	42,162	41,257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,472	544
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,098	29,996
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,967	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△21,053
事業撤退損失引当金の増減額(△は減少)	△9,200	-
受取利息及び受取配当金	△5,683	△6,207
支払利息	18,140	6,298
金利スワップ解約損益(△は益)	19,103	-
固定資産売却損益(△は益)	△143,337	-
売上債権の増減額(△は増加)	△933	99,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,371	125,988
仕入債務の増減額(△は減少)	267,697	△336,275
その他	△106,447	△48,709
小計	98,312	△13,099
利息及び配当金の受取額	4,124	5,345
利息の支払額	△19,278	△6,714
法人税等の支払額	△12,220	△24,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,937	△38,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,120	△4,362
有形固定資産の売却による収入	980,000	-
投資有価証券の取得による支出	△302	△64,544
貸付けによる支出	△930	△52
貸付金の回収による収入	3,195	318
預り保証金の返還による支出	△74,685	-
その他	2,210	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	899,366	△68,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	49,633	40,000
長期借入れによる収入	10,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△500,835	△73,314
社債の発行による収入	-	116,808
社債の償還による支出	△3,000	△153,000
少数株主への配当金の支払額	-	△2,643
リース債務の返済による支出	△9,480	△10,564
その他	△30	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453,711	317,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	954	△1,994
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	517,546	208,010
現金及び現金同等物の期首残高	156,151	155,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	673,697	363,966

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	産業資材事業	マット事業	食品事業	不動産 開発事業	
売上高					
外部顧客への売上高	487,381	788,441	892,842	32,917	2,201,581
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	487,381	788,441	892,842	32,917	2,201,581
セグメント利益又は セグメント損失(△)	9,405	△10,605	31,628	24,517	54,945

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間において賃貸不動産を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ「不動産開発事業」セグメントの資産が836,662千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	産業資材事業	マット事業	食品事業	不動産 開発事業	
売上高					
外部顧客への売上高	456,787	1,163,120	754,958	3,178	2,378,045
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	456,787	1,163,120	754,958	3,178	2,378,045
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,706	103,745	△16,898	1,091	96,645

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は平成26年11月7日の取締役会において、下記のとおり、用地買収に応じ、固定資産を譲渡する方針を決議いたしました。

1. 譲渡の理由

平成23年9月に発生した台風12号の水害により被災した養魚場の土地の一部について、和歌山県東牟婁振興局より、太田川災害復旧助成事業に伴い、用地買収の申し入れがありましたので、譲渡の方針を決議いたしました。

2. 譲渡の概要

名称	旧浦安養魚場
所在地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下和田644番地 他三筆
土地	1,224.93㎡
帳簿価額	0百万円
譲渡価額	交渉中
現況	遊休地

3. 譲渡先

和歌山県東牟婁振興局新宮建設部

4. 譲渡の日程

平成27年1月～3月(予定)